



最後の  
大宮司

宗像氏貞公墓前祭齋行

三月四日午前十一時より当大社第八十大宮司宗像氏貞公の墓前祭が、氏貞公所縁の関係者が参列する中、滞りなく齋行された。

この墓前祭は氏貞公逝去四〇〇年忌にあたる昭和六十一年に、当大社と菩提寺である承福寺との墓碑保存の協議の折、神式と仏式で隔年毎に墓前祭を奉仕することが定められ今日に至る。

本年は当大社の当番年であり神職三名が出向し神式で執り行われた。前日の予報は雨でありテントも準備されたが、降ることなく祭典時には晴れ間ものぞく中、当大社高向宮司、承福寺埜村住職、隣船寺田代住職、初代大宮司清氏公以来宗像家に任え代々墓守をされてきた占部家の方々、墓所のある上八今門地区の皆様が参列



氏貞公墓所



4月祭事暦

- 1・2日 春季大祭  
(1日目) 午前11時～一日祭  
(2日目) 午前11時～二日祭  
午前11時40分～  
高宮祭、第二宮・第三宮祭  
宗像護国神社 春祭  
交通安全講社祭
- 15日 月次祭  
午前10時～  
高宮祭、第二宮・第三宮祭  
午前11時～ 総社祭
- 28日 沖・中両宮春季大祭  
午前11時～  
於＝大島・中津宮
- 29日 昭和祭  
午前11時～



四月の年度はじめは出会いや別れ、新たな取り組み、息子が誕生し新たな出会いから早一年が経とうとしている▼我が国には満一歳の誕生日には一升餅をついて祝う子に背負わせたり踏ませたりして、その子が食に困らず、健やかに育ちますようにという親の切なる願いが込められた儀礼である。それは今日でも多くの家庭で行われており、儀礼風習を重んじている姿である▼昨夏には政権が交代し、そのマニフェストの目玉の一つ「子ども手当」が今年度から施行される。様々な意見が出されているが、家庭の経済的負担が軽減され、少子化に歯止めがかればと祈ってやまない▼神社にいと家族揃っての参拝をよく目にする。そこには親を真似て子どもが神前で手をあわせる光景がある。この神を拜むという習慣からは自然と礼儀や感謝する気持ち、代々伝えられているように思う▼国による子育ての役割が経済支援などの政策ならば、神社に携わる私たちの役割は我が国の儀礼や習慣、風習が子育てに繋がることが伝える事である。儀礼のなかに成長の喜びや節目を感じて頂き、参拝するなかで心を養って頂く。これまで、これからも永続的な「鎮守の杜」に足を運び、我国に生を受けた悦びを感じていただきたい。(吉)

神具・装束・授与品

井筒

装束店 〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る  
 フリーダイヤル 0120-075-980  
 福岡店 〒812-0068 福岡市東区社領1-12-10-401  
 フリーダイヤル 0120-055-092  
 授与品店 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23  
 フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567

し氏貞公の威徳を偲んだ。

氏貞公が活躍した室町末期の九州の情勢は、大友・龍造寺・島津氏の三大勢力が鼎立し、又中国地方からは、毛利氏が九州へ侵攻してきていた。大友・龍造寺・毛利氏が衝突する地は、筑前及びその周辺地であった。この地方に存在する宗像氏をはじめ諸勢力は、その時々々の情勢を正確に判断し行動しなければ滅亡する時代でもあった。

このような困難な時代に大宮司職を継いだ氏貞公は、深謀遠慮を巡らし神郡宗像を外敵から守り、落日の宗像大宮司家の再興を図った。また戦乱により衰微していた社寺等の復興にも努めた。

弘治三年(一五五七)本殿内陣よりあがった火は、本殿・拜殿を焼き又多くの神宝が灰燼に帰した。それから約二十年の時を置き、氏貞公が厳しい時勢の中再建された。これが現在の辺津宮本殿である。

これ以外にも神郡内の荒廃した社寺の復興、現在の上八辺りの田地を御神米用田として寄進、社寺の改革(祭祀の厳



氏貞公肖像画

正化等)等々、宗像大神の神威の護持に努めた。しかし氏貞公は、志も半ばの四十二歳、葛ヶ岳城で風邪が遠因となり病没する。敵に侵略の隙を与えない為、その死は三年間秘されることになり、亡骸は占部右工門によつて密かに現在の地へ埋葬され、以後、代々占部一族が守つてきた。その後間もなく氏貞公の願いも叶わず、豊臣秀吉の命によつて継嗣のいない宗像大宮司家は断絶となり、その御神威を遍く知られた宗像大社も次第に衰微していった。

今回の墓前祭を通し、戦国乱世の混迷する時世に、当大社の存立危うき中をよく守り抜いた中興の祖・氏貞公御一代の生涯に思いを馳せ、我々も更なる神徳宣揚に心を尽くす誓いを新たにしたい。



拝礼する高宮司



人事異動(神職)

四月一日付で人事異動を左記の通り行いました。

宮司	高向 正秀	神宝館々長
禰宜	堤 宏 葦津 幹之	文化財管理事務局長 庶務部長 社務本局長 氏子青年会事務局長(兼) 経理部長 海洋分局長
権禰宜	渡邊 秀丸	
杉山 安彦		祭儀部長 宗像護国神社管理主任(兼) 宮司兼務社管理主任(兼) 祭儀部 儀式課長 氏子会幹事(兼)
佐々木大治		祭儀部 賽務課主任 氏子会幹事長(兼)
中原 裕生		宗像大社菊花会事務局長(兼) 庶務部 庶務課員 海洋分局主任(中津宮) 庶務部 広報課主任 氏子会幹事(兼)
坂本 敬 御床 直之 大塚 宗延		宗像大社歌会担当(兼) 経理部 会計課主任 主基地方風俗舞保存会事務局長(兼) 氏子青年会事務局員(兼)
長友 貞治		経理部 用度課主任 宗像大社菊花会事務局員(兼) 庶務部 庶務課員 宮司秘書(兼)
壱岐 貴寿 松林 拓 吉野 理		経理部 用度課員 氏子会幹事(兼) 主基地方風俗舞保存会事務局員(兼) 祭儀部 賽務課員 宗像大社菊花会事務局員(兼)
鈴木 祥裕		祭儀部 儀式課員 氏子会幹事(兼) 祭儀部 儀式課員 氏子青年会事務局(兼)
日高 庸介		
船越 裕介		

# 奈良国立博物館「大遣唐使展」へ神宝出陳

平成二十二年四月三日〜六月二十日まで奈良国立博物館が開催する「大遣唐使展」へ当大社神宝 沖ノ島祭祀遺跡出土品が出陳される。

本年、平城京が開かれてから千三百年の節目の年を迎えた奈良では、各所で様々な記念事業が繰り広げられている。本展覧会もその一環で、平

城遷都の時代の「遣唐使」に焦点をあて、彼らが日本の国づくりのために果たした偉業とその意義を空前の規模と内容で紹介するものである。

遣唐使は、奈良時代、わが国



奈良三彩小壺



滑石製人形

から唐へ初めて派遣された公式の使節団である。彼らが唐から持ち帰った知識・技術・文化は、わが国の文化水準を飛躍的に高め、豊かな恵みを施し、新しい国づくりの活力となった。当時、当大社神体島沖ノ島では、命がけて渡海する彼らの航海安寧が祈願されたと考えられている。

出陳品の内容は、奈良三彩小壺、滑石製形代（人形・馬形・舟形）、祭祀土器、八稜鏡片、皇朝銭など計七十四点。遣唐使の真摯な祈りの象徴として展覧会の冒頭で紹介される。

特に奈良三彩小壺は、奈良の都の官営工房で作られ国家規模の祭祀に捧げられるものとして知られており、遣唐使が辿った海路の難所の祭祀でも等しく捧げられていることから、本展覧会の冒頭展示の主役となっている。

古代、わが国の重要な外交に携わった人々の心情を、宗像三女神への崇敬という観点から感じ取ろうとする本展覧会の試みは、古都奈良と宗像大社の尊い繋がりを知りうる有意義な機会となるだろう。

# 短刀奉納奉告祭

去る三月十六日、中村計夫氏より当大社へ短刀一口が奉納された。本短刀は中村氏が守り刀として長くご所蔵されてきたもので、同氏の強いご希望でこの度の運びとなった。

当日は快晴。午前十時より、春の息吹に包まれた辺津宮本殿で奉納奉告祭が斎行された。祭典には中村氏とご夫人が参列し、厳かに執り行われた。

奉納された短刀は、無銘のため詳細は明確にわからないが、新々刀（江戸時代後期〜明治時代初期）とみられる。短刀には珍しく両刃冠落造りである。近く、当大社神宝館でのお披露目を計画している。この度のご奉納、心より感謝申し上げます。



# 宗像市世界遺産推進室 平成二十一年の活動報告

宗像市役所  
世界遺産登録推進室

## 一、はじめに

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコ世界遺産暫定リスト

トに記載され一年が過ぎました。これから世界遺産の本登録に向けて、学術的な研究や市民啓発などさまざまな課題

を解決していく必要があります。世界遺産登録推進室では、学術的な調査研究の分野と市民啓発に関する分野の大きく二つの活動を軸に取り組んでいます。

## 二、学術的な研究調査

学術的な分野では、世界遺産登録申請のための推薦書の作成に必要な準備を行っています。

まずは、コンセプトの見直しやそれに伴う構成資産の選定作業です。具体的には、昨年度調査し今年国指定史跡となつた田熊石畑遺跡や、大島において新たに発見された御嶽山山頂の露天祭祀遺跡などを構成資産に含めるかどうか、また、沖ノ島の信仰と古代豪族宗像(胸形)氏をどのように組みあわせ説明していくかなどを検討しているところです。

今年度は、このような議論をおこなうために二回の「宗

像・沖ノ島と関連遺産群」専門家会議と国際専門家会議、国際シンポジウムを開催しました。

国際シンポジウムでは、本遺産のコンセプトの軸をどこに置くのか、信仰なのか交流なのかを議論しました。また、世界遺産の※登録基準に照らし合わせてストーリーを作る必要性が強調され、その中で、基準iiの影響では、海を介した国家間の交流によって双方向に影響を与えたこと、基準iiiの証拠では、自然崇拜から社殿祭祀への変遷とそれに携わつた宗像氏に関する表象とその裏づけが必要なこと、基準viの関連性では、禁忌や伝統について具体的な調査データが必要であることなどが今後議論すべき点であるということでした。

また、構成資産の完全性についても、保護保全が万全で



国際シンポジウムの模様



吉村作治氏とサポーター



吉村作治氏講演会

なければならず、特に沖ノ島のように渡島などの入場制限を行うことについて世界遺産委員会は、問題ないとしています。また、世界遺産登録活動においても世界遺産委員会において、市民一人一人の参加を重要としています。つまり、市民がこの貴重な遺産を守ろうとする意識を向上させ、地域と一体となって保護保全していく体制を作る必要があります。幸い宗像・福津両市には応援団があります。このような市民団体の活動が世界遺産登録を進める上で鍵となります。

### 三、市民啓発

国際シンポジウムの最後に強調して言われていたように、世界遺産登録活動は行政が行うものではなく、市民と一体となって取り組まなければなりません。そのためには、まず、本遺産の内容や価値を知ってもらう必要があります。それを誇りに思っ

て守り続けることが重要です。その上で、本遺産には、どのような景観がふさわしいのかを市民と

いっしょに考えていく必要があります。

今年度は、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知ってもらうために九州大学の協力でDVDを作成しました。また、本遺産と世界遺産とは何かについて多くの人に興味をもってもらうために、このDVDを活用しながら啓発活動を行いました。市内では東郷地区や田島地区のコミュニティ運営協議会、宗像高校九十周年イベント、宗像漁協や農協など各種企業や団体を対象に説明会を開き、市外においても、小倉競馬場、直方イオン、天神、小石原民陶祭、東京代々木公園などでPRを行いました。また、沖ノ島世界遺産の提唱者である吉村作治氏からも二月十七日に講演をしていただきました。

世界遺産応援サポーターも三百人(平成二十二年三月現在)に達し、力強い応援体制ができています。平成二十二年度には、市内の各種団体に参加してもらい、本格的な世界遺産登録を推進していきます。

### 四、まとめ

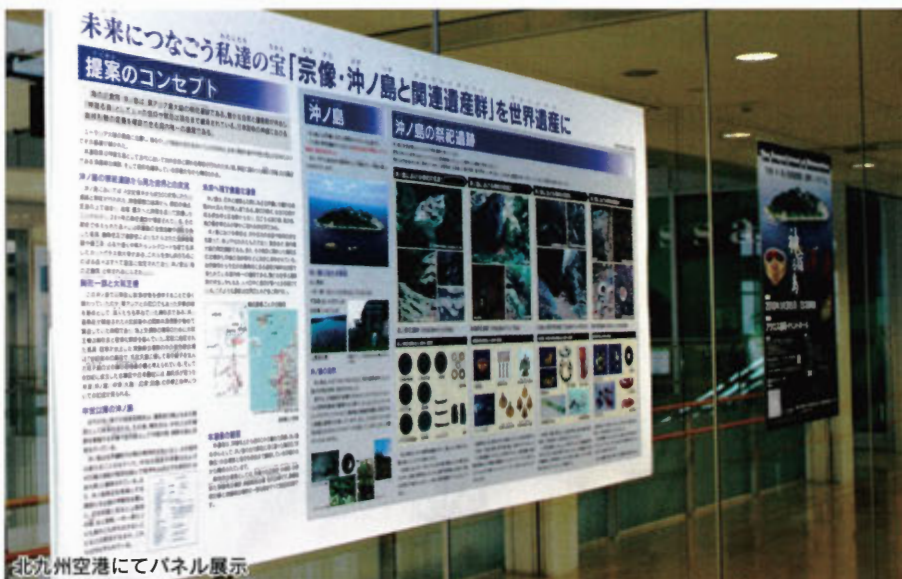
世界遺産登録の本質的な目的は、地域にある貴重な文化財や自然の保護保全であり、広くはより良い自然環境や生活環境を保つていくことです。こうした遺産を地域の誇りとして認識し、また、まちづくりに活用していきながら、

次の世代に引き継いでいくことです。

世界遺産登録のための推薦書提出は、多くの課題などを解決して早くても六年後を予定しています。まだまだ長丁場になりますが、世界遺産登録推進室では、多くの人々の理解と協力を得ながら推進し、こうした理念が、登録後も

変わらず永遠に続くように今からその基礎づくりを行っていきます。

※登録基準とは、あらかじめ世界遺産の登録条件として定めた基準です。文化遺産は六つの基準があり、一つ以上該当しないと世界遺産とは認められません。



北九州空港にてパネル展示



御嶽山現地視察の様子

## 平成22年・日本海々戦記念 沖津宮現地大祭の御案内

今年も沖ノ島西方洋上で明治38年に国家の命運をかけ戦った日本海海戦の記念日を卜して、年に一度沖ノ島に渡島し、『沖津宮現地大祭』が斎行されます。

下記、要項で参加者を募集致しますので、参拝ご希望の方はお申し込み下さい。



■船上から見た沖ノ島



■海中での禊



■沖津宮現地大祭の様子

### 沖津宮現地大祭要項

- ①参拝者は沖津宮奉賛会費として1名につき、**20,000円**お納め頂きます。
- ②参拝御希望の方は、当大社より『参拝申し込み書』をお取り寄せ頂き、社務所まで御返送下さい。定員(200名)になり次第締め切らせて頂きます。
- ③乗船者数に制限がありますので、申し込み**先着順**の参拝許可と致します。
- ④沖ノ島渡島前日の**5月26日(水) 18:00迄**に中津宮(筑前大島)に到着し、受付を済ませ、渡島安全祈願祭に御参列していただきます。(祭典後、各班ごとに説明会を行います)
- ⑤**5月27日(木) 7:00前後**に大島港を出港。
  - ・沖ノ島到着後、直ちに海水で禊をして頂きます。
  - ・祭典は**10:00**の予定です。
  - ・**13:00**沖ノ島を出港の予定で、大島着島は当日の天候次第で変動致しますが**15:00頃**の予定です。
  - ・大島←→神湊間のフェリー最終便は**18:00**です。
- ⑥海上模様等で沖ノ島渡島が中止になった場合は、大島の沖津宮遙拝所で祭典を斎行致します。
- ⑦関係筋の通達により年令70才以上の方や、健康状態が良好でない方、長時間の乗船に耐えられない方は御遠慮願います。
- ⑧申し込み者には、受付後参加の諾否を葉書で御通知申し上げます。

### 沖津宮参拝心得

- ①遊山・魚釣等を目的とし、釣具類を持参しての乗船は固く禁止します。  
もし違反があれば乗船をお断り致します。
- ②沖ノ島上陸の際は、古例により海水で禊をし、心身を清める事。
- ③御神水以外は、一木一草一石たりとも持ち帰る事を禁止します。
- ④厳重なる掟がある為、婦女子の参拝は固くお断わり致します。  
大島での宿泊につきましては、参考要項に同封の、大島の旅館・民宿のパンフレットを御参照の上、各自で直接予約願います。申込書・参拝心得・参拝要項等を用意しておりますので、返信用切手を同封の上、下記宛までお申し込み下さい。

#### 申し込み先

〒811-3505 福岡県宗像市田島2331  
宗像大社社務所 祭儀部『沖津宮現地大祭』係  
TEL (0940) 62-1311 (代表)  
FAX ( // ) 62-1315



(続)

# 浜の奇物

244

いしいただし



あらためて戦争画の絵ハガキを見てみよう。昭和十六年十二月八日。「ハワイ真珠湾強襲」(吉岡堅一)、「ハワイ海戦」(村上松次郎)がある。所有している絵ハガキにはないが、藤田嗣治に「真珠湾奇襲」があ

る。真珠湾上空から俯瞰したもので、停泊している米太平洋艦隊が、日本軍機から攻撃を受け、白い水柱がたち、黒煙もあがっている。絵は航空機から撮影されたものを使って絵におこしたものであろう。



戦争画絵ハガキ

真珠湾攻撃の二日後には、マレー沖海戦があった。英国最新鋭戦艦「プリンス・オブ・ウェールズ」号と、巡洋艦「レパルス」はマレー沖で捕捉され一式陸攻によって撃沈され緒戦の大戦果をあげた。

「マレー沖海戦」(松添健)が絵ハガキにある。宗像市出身の大家家中村研一も、この海戦を描いている。中村の岳父(妻の父)は中村正音海軍少佐であり、海軍とは縁浅からぬものがあった。研一は昭和十二年(一九三七)、英国王ジョージ六世戴冠式記念国際観艦式を記録するため、重巡洋艦「足柄」に乗艦して英国にいつている。研一



マレー沖海戦 部分 中村研一

の「マレー沖海戦」は、画面右上に攻撃する一式陸攻を描き、真下に爆弾をあびる戦艦「ウェールズ」、左手にこれも煙をあげている「レパルス」を配して、臨場感を演出している。研一

は中村正音海軍少佐であり、海軍とは縁浅からぬものがあった。研一は昭和十二年(一九三七)、英国王ジョージ六世戴冠式記念国際観艦式を記録するため、重巡洋艦「足柄」に乗艦して英国にいつている。研一

の「マレー沖海戦」は、画面右上に攻撃する一式陸攻を描き、真下に爆弾をあびる戦艦「ウェールズ」、左手にこれも煙をあげている「レパルス」を配して、臨場感を演出している。研一



コタ・バル 部分 中村研一

の「マレー沖海戦」は、画面右上に攻撃する一式陸攻を描き、真下に爆弾をあびる戦艦「ウェールズ」、左手にこれも煙をあげている「レパルス」を配して、臨場感を演出している。研一

あふれた画である。研一は海軍とともに陸軍の作戦記録画も描いている。十二月八日に陸軍はマレー半島にも侵攻したが、英領地区の「コタ・バル」を第五師団(美支隊が敵前上陸を敢行、海岸には英軍の張りめぐらした鉄条網、倒れ重なる兵隊、工作隊の必死の切断作業、手榴弾をかまえる兵、壮絶な戦闘場面、それを英軍側からの視線で描かれている。研一

の作品としては最高傑作と評価が高い。「構図、群像表現、逆光の効果、どれをとっても作戦記録画のなかでその完成度はトップクラスに位置するだろう。」(戦争と美術 迫内祐司) 宮本三郎、藤田嗣治も多くの戦争画(作戦記録画)を残している。絵ハガキには宮本三郎の「シンガポール英軍の降伏」があり、日本軍将校と英国旗と白旗を持って歩む英国将校。それにつづくのが戦争画の最高傑作といわれる宮本の「山下・パーシバル両司令官会見図」である。シンガポールのフォード自動車工場の一室で、山下奉文大将とパーシバル司令官との会見の場面である。イエスカノーと山下が詰め寄るところである。部屋に隅に立てかけられた英国旗と白旗、英国側の机の隅には裏返しになった皿状の鉄カブトが置かれている。これらは会場にはなかったというから宮本がつけ足したもので、日本の勝利を強調したものである。マレーの虎といわれた山下大将、相手を威圧するようなポーズ、勝ち誇った表情が読みとれる。



の作品としては最高傑作と評価が高い。「構図、群像表現、逆光の効果、どれをとっても作戦記録画のなかでその完成度はトップクラスに位置するだろう。」(戦争と美術 迫内祐司) 宮本三郎、藤田嗣治も多くの戦争画(作戦記録画)を残している。絵ハガキには宮本三郎の「シンガポール英軍の降伏」があり、日本軍将校と英国旗と白旗を持って歩む英国将校。それにつづくのが戦争画の最高傑作といわれる宮本の「山下・パーシバル両司令官会見図」である。シンガポールのフォード自動車工場の一室で、山下奉文大将とパーシバル司令官との会見の場面である。イエスカノーと山下が詰め寄るところである。部屋に隅に立てかけられた英国旗と白旗、英国側の机の隅には裏返しになった皿状の鉄カブトが置かれている。これらは会場にはなかったというから宮本がつけ足したもので、日本の勝利を強調したものである。マレーの虎といわれた山下大将、相手を威圧するようなポーズ、勝ち誇った表情が読みとれる。

# 第五八四回 宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メロ



**評** 里山に女が薪採るといふ三千年前の労働歌読む(詩経) 発見と驚きの一首添え書きの詩経を四句に入れ「詩経のなかの」とした方が、詩経のもつイメージの力で一首にふくらみと深みが出る。

**評** 宗像市 田、久 巻 桔梗  
手水舎で作法どほりに手を清め少年ふたり神門くぐる (作法をきちんと知っている少年は珍しいです)

**評** 宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子  
去年まではバレンタインデーはチョコなれど今年は焼酎を夫へ贈りぬ 焼酎となったのは夫の意思か妻の意思か、いづれにしても流行に流されまいとする心の確立が見えて好ましい。四句なかからは「夫へ焼酎贈る」と定型にしたい。

**評** 北九州市 八幡西区 豊田 光子  
諦めと未練がせめぐふりかへり春の雪降る墓地を後にす 事柄を入れ過ぎて折角の情感が伝わりにくい。「諦めと未練がせめぐふりかへり」ふりかへり雪の墓地を後にす」としたい。

**評** 福津市 中央 池浦千鶴子  
明日につなぐ命のための米を研ぐ音さえええと狭き厨に い歌だが研ぐ音を三句と四句の句跨りにしたのでリズムと意味の流れが止まってしまった。上句を明日につなぐ命の米を研ぎてをり」と三句切れとする。

**評** 北九州市 八幡西区 吉田ウト子  
山袈のあひに霧湧く朝まだき道の駅へ急ぐ深ネギの荷の 下句やや言い急いでいる。一、二句を「山袈に霧湧くあした」と簡明に叙して、以下をゆつくりと丁寧な詠って欲しい。

**評** 宗像市 日の里 大和美由紀  
方言の飛び交ふバスノターミナル更地となりてまぼろしとなる 上句は過去のことだから「方言の飛び交ひてゐる」バスノターミナル」とすべきである。過疎化する悲しみのうたである。

**評** 宗像市 日の里 石松 弘次  
在満の兵の日想へばなんのその凍てつく朝の耐寒ゴルフ 見習うべきこの心意気。巧拙を超えた力がある。

**評** 宗像市 土穴 山本 静子  
そとあけし散華は一枚金色の日輪描けり魁夷の筆に(唐招提寺) 魁夷の絵に対する賛歌、ただ絵を知らない人には、二句は判らないのが惜しい。

**評** 福岡市 南区 井田有久衣  
農道の楮一輪手のひらに類よせみればかすかに匂ふ 一首の中で農道が生きていない。上句を「一輪の楮の花を手へのせて」と焦点をしばって詠うことが大切。

**評** 北九州市 八幡西区 遠藤 幸子  
わが方を向きて咲きたる白梅のゆかしきかほりに一日のはじまる 「ゆかしきかほり」は、言い過ぎ。ここは素直に「かすかな匂ひ」位でいいのでは、なお「かほり」は「かをり」である。

**評** 福津市 星ヶ丘 佐々木和彦  
美を競う氷上の少女舞うたびに軽羅の裾は朝顔となる 四、五句には作者の目が表現へと昇華している。

**評** 福津市 若木台 野間 精一  
リルリとイカルの鳴くを真似をする国光珠子さんは得難きわが友 節調の良さが会えば心安らぐ友への思いを増幅させている。小品の良さがある。「珠子さんは」の「は」は省きたい。

**評** 宗像市 田野 森 甲子  
よいとまけの歌に思ひ出す早麩で三反の米実らぬ年を このままでは作者の思ひは読む側に伝わらない、上句を「よいとまけの歌には苦き思ひあり」とし下句を「早麩で米の穫れざりし年」ではどうだろうか。

**評** うきは市 浮羽町 向 則正  
酸素吸ひ点滴を受けベッドに伏す一日は長く心さだまらず 三句以下は「伏すベッド心さだまらず一日は長し」と語順を入れ替えたい。

**評** 北九州市 戸畑 田中ハツセ  
盆栽のさかりの白梅桜草ほけも咲きある吾が庭に立つ 春へのよろこびの歌。二、三句は「盆栽の白梅さかり」と順直に詠いたい。

**評** 福岡市 南区柏原 加野シノブ  
各国のオリンピックの選手達国を背にしてスタートに立つ 正にこの通りだが、このままではマスコミの報道文から出ていない。もっと自分の目と言葉で作って欲しい。

**評** 選者詠  
わたくしの喜びとしも冬枯れの植込みのなかくるみそさざい 晴れぎはの時雨に朱樂つやだちて白秋生家の中庭寒し コーヒーを飲まむと寄りし窓に見え水路に近く枇杷の花咲く

# 第五五九回 俳句作品集

宗像市 神湊 永島 紀子  
玉垣に光集まる今朝の春

宗像市 日の里 花田いつ枝  
八重よりも一重の気雪雪中花承仙の花

宗像市 光岡 白土 凌一  
梅咲きてメジロ鳴かんや春知らず

## 編集後記

今年には時化が多いらしく、勤務交代日以外はたった一人の勤務でした。今回島では「坂の上の雲」を読みました。クライマックスの日本海海戦は沖ノ島北西の対馬海峡が舞台であり、「沖ノ島」の章も登場するため感慨深かったです。読み始めるため感慨深かったです。以上、日清・日露戦争までの経緯や時代背景、帝国陸・海軍の実態、帝国主義時代の世界情勢、日露両国の将校、一士官に至るまでの出自や戦後まで子細に描かれており、教科書程度の知識しか持たない小生にはとても勉強になりました。また曾祖父が憲兵伍長という軍の警察として満州に従軍したこともあり(その軍事恩給で父は神職の学校を出た)と聞いている、会ったことのない先祖にも思いを馳せる機会ともなりました。歴史に「もし」はありませんが、もし日露戦争に敗れていたら、今日の日本の地位もなかったことでしょうか。東郷元帥が指揮をとった旗艦三笠は横須賀港にあり、その「羅針儀」は当大神宝館の三階で、民族の命運を賭けた歴史を静かに語っています。(塚)